

DFFT (DATA FREE FLOW WITH TRUST) INITIATIVE

Contribution to G7 Digital and Technology Ministers' Meeting



Round Table Meeting for Data Society.

はじめに

本報告書は、“DFFT”の実現に向けて、日本、米国、インド、欧州のデータ連携ビジネスに携わる民間企業が議論した結果、G7デジタル技術閣僚会議に向けた提言をまとめたものです。

国、地域、分野を超えたマルチステークホルダーによるデータの公正で自由な流通と利用は、これらの境界を越えた健全な社会であるデータ社会の実現に寄与する。このデータ社会では、独立した個人、技術、組織の主権を尊重することが、データの自由な流通の指針である。特定の機関や当局による一方的なデータの収集や管理は、データ社会の実現を脅かすものである。このような前提のもと、私たちは、共通の価値観を持つ人々が、高い信頼性をもってデータを共有できるようにするDFFT (Data Free Flow with Trust) ポリシーを支持します。

1. 提案内容

各国の主権や規制の枠組みを尊重しつつ、G7諸国間でDFFT (Data Free Flow with Trust) を実現するための政策提言をまとめました。

① データ保護とプライバシーに関する共通のフレームワークを開発する：

各国は、個人のプライバシーとデータ保護を尊重する共通の枠組みを開発するために努力すべきである。この枠組みは、国際的な基準やベストプラクティスに基づくものであるべきである。

② データリテラシーを推進する：

市民や組織の間でデータリテラシーや教育を推進することは、データの価値やその使われ方を理解してもらうために不可欠である。これは、ステークホルダー間の信頼関係を構築するのに役立つ。

③ 国際協力を促進する：

DFFTの実現には、国際協力が不可欠である。G7諸国は、国際的なデータフローのルールと基準を促進し、データ保護とプライバシーに関する共通理解を確立するために協力すべきである。

④ サイバーセキュリティ対策を強化する：

G7諸国は、サイバー攻撃やデータ漏洩を防ぐために、サイバーセキュリティ対策の強化を優先的に行うべきである。これは、信頼の構築と国境を越えたデータフローの安全性の確保につながる。

⑤ データのポータビリティを奨励する：

データポータビリティを奨励することで、個人が自分のデータをよりコントロールできるようになり、ビジネス競争が促進される。また、国境を越えたデータの流れが促進され、イノベーションが促進されるでしょう。

⑥ データおよびデータ交換メカニズムの相互運用性を促進する。

データの相互運用性とデータ交換の仕組みは、関係者間の情報の流れを円滑にするために不可欠であり、データ構造、データ形式、分類法、使用制限、ライセンス条項など、共有するデータ製品を明確に記述することが求められる。

⑦ 透明性のあるデータの取り扱い方法を採用する：

各国は、信頼を築き、説明責任を果たすために、透明性の高いデータの取り扱い方法を採用すべきである。これは、データの非倫理的または違法な利用を防止することにもつながる。

⑧ 各国の主権と規制の枠組みを尊重する：

各国には独自の規制の枠組みがあり、この枠組みを尊重しつつ、国境を越えたデータフローを推進することが不可欠です。そのためには、関係者間の協力と交渉が必要です。

⑨ データ利用権

各国は、データ利用権の正当性を証明し保護するための標準的なシステムの確立を検討すべきである。データ利用権の標準化は、無体物で排他的に所有できないデータの共有・流通を加速させるものである。

⑩ データ仲介サービスの役割

データ仲介サービスは、様々な利害関係者間のデータ交換を促進するために不可欠である。個人や組織がデータを完全に管理する一方で、中立性と透明性を確保するために、認識と規制が必要です。

⑪ DFFTのディスカッションボディ

ディスカッションボディには、技術、ビジネス、政府、法律の専門家が参加し、民間団体による政策、実践、技術標準に関する継続的な国際的議論を反映させながら、DFFTフレームワークを実用的に推進するための国際方針を確立することが望ましい。

全体として、各国は、プライバシー、セキュリティ、信頼、相互運用性の重要性を強調しながら、おのおのの主権のもとDFFTの実現に向けて努力する必要があります。G7 諸国が協力し、共通の基準を採用することで、各国の主権と規制の枠組みを尊重しつつ、国境を越えたデータフローを促進することができます。

2. 民間企業の貢献度

DFFTを実現するために、民間がやるべきことはたくさんあります。データ活用によるビジネスチャンスの拡大やイノベーションの創出に向けて、国際的に協力することが不可欠です。そのためいくつかの試みはすでに始まっています。(https://data-society-alliance.org/wp-content/uploads/2023/02/PressRelease_Roundtable_rev3.pdf)

民間は、次のような分野で協力する必要がある：

① 技術・インフラの開発：

民間企業は、DFFT をサポートするための新しい技術やインフラの開発に投資することができる。これには、安全で信頼できるデータ共有技術、本人確認、プライバシー保護、相互運用性、データポータビリティが含まれる。

② 国際規格の推進：

民間企業は、国際標準化団体と協力してDFFTの標準を開発・推進することができる。これにより、異なるシステムや技術に互換性を持たせ、国境を越えたデータ交換を容易にすることができます。

③ 政府との連携：

民間企業は、DFFTを支援する政策や規制を共同で策定することができます。この場合、提案された規則について意見やフィードバックを提供したり、実施中の懸念や課題に対処するために政府と協力したりすることができる。

④ 教育・啓発を行う：

民間企業は、DFFTの利点とそのセキュリティとプライバシーを確保するために取られている措置について、一般市民やその他のステークホルダーを教育する役割を果たすことができます。これにより、DFFTに対する信頼と支持を築き、より多くの技術採用を促すことができます。

3. 今後の行動計画

これらの提案を確実に実行するために、G7議長国は、産官学からなる討議機関を設置・運営すべきである。この組織は、DFFTの実現に向けた具体的な行動計画の策定と必要な協定の交渉を担当することになる。様々なステークホルダーが参加することで、意思決定プロセスの透明性と包括性が促進され、最終的にDFFTの成功につながる。

著者紹介 / *Authors*

Didier Navez / Dawex

Stefano De Panfilis / FIWARE Foundation

Takafumi Ochiai, Atsumi & Sakai/ Smart Governance Inc.

Prof. Dr. Frank Köster / German Aerospace Center (DLR) Institute for Ai Safety & Security

Maximilian Stäbler / German Aerospace Center (DLR) Institute for Ai Safety & Security

Steffen Dean Turnbull / German Aerospace Center (DLR) Institute for Ai Safety & Security

Robin Taba / German Aerospace Center (DLR) Institute for Ai Safety & Security

Julien Adelberger / International Data Spaces Association

Isamu Yamada / Data Society Alliance

Kohtaro Asai / Mitsubishi Electric Corporation

Dr. Hiroshi Mano / Data Society Alliance, IEEE P3800 DTS WG Chair